

米国通関業務の停滞による弊社検査の実施不可と遅延に関するお詫びと受託に関するご案内

8月末より9月中旬までの米国通関業務の停止および停滞に伴いまして、その間に受託いたしました一部の検査検体の報告遅延、あるいは検査実施不可により大変ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

9月13日より米国通関業務は機能し始めましたが、その直後は通関における荷が過多であったせいか動きは鈍いものでした。9月18日から従来と変わらぬ業務に回復したと見なせるようになり、その後本日までは業務の停滞や搬送の遅延などは発生しておりません。

弊社米国本社の検体搬送部門や国際運送会社FedExとの情報交換により、現在の米国通関業務の検証を行い、米国通関業務が正常化したと判断いたしました。つきましては、弊社の受託は従来通りとさせていただきます。

今後ともこれまでと変わらず、ご心配なくご出検くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月3日
ラボコープ・ジャパン合同会社